

日本初のEGF配合サプリ発売、OEMも推進

バイオリンク販売

(株)バイオリンク販売(大阪市中央区、☎06-6120-1508)は、日本初のEGF配合サプリメントを今月より発売、同時にOEM業務を開始した。同社は2005年に日本で初めてのEGF配合化粧品を発売、約3年間で約60万個(OEMを含む)を販売しアンチエイジングの注目素材としてEGF配合化粧品を大ヒット商品に成長させた。素材としてのEGFの認知度が進むにつれ、「EGF配合サプリメントは作れないのか?」という問い合わせが同社に殺到。2年ほどの研究期間を経て満を持しての展開となったという。

EGFは53個のアミノ酸から形成されるタンパク質の一種。ノーベル生理学医学賞を受賞したスタンレー・コーエン博士によ

って発見されて以来、研究が進みさまざまな機能が判明してきた。中でもスキンケア効果が認められEGF配合化粧品がブームに。「アンチエイジング化粧品素材としての認知が高まるにつれ、EGFが含まれているという理由でプラセンタや燕の巣ドリンクもブームとなってきた。EGFのパイオニアを自負する弊社にEGF配合サプリメントはないのかという問い合わせが相次ぎ、研究開発に入った。」

化粧品素材として商品化が先行したためEGFイコール化粧品素材のイメージが強いが、EGFは唾液にも多く含まれるという。「その分泌が多いほど健康であることが確認。また唾液よりも母乳に多く含まれ、特に初乳には100ccあたり10μgとい

う高濃度のEGFが含まれ、新生児の細胞の成長を助ける」という。研究を進め、今春に、EGFを日本で初めて食品(飲料)に入れることに着手。清涼飲料・果実飲料としてEGFの登録商標も取得し、EGF配合の日本初の美容ドリンク『EGF®エクストラチャージドリンク』を発売。さらに、錠剤化に向け開発を進めた。「熱に弱いEGFの特性を考慮し、特別な製造法を開発。初の錠剤形状のサプリメントとして商品化」という。

商品は『EGF®エクストラサプリ』(250mg×180粒入・8,400円)。1瓶で20μg(20,000IU)のEGFを配合。1日摂取量の目安は6~9粒で、9粒でEGFが1μg(1,000IU)摂取できる。「この量は健康な人が丸1日かけて分泌する唾液約1Lに含まれるEGFとほぼ同じ量で、燕の巣約10個分に含まれるEGFに相当する」とい

う。

EGFは非遺伝子組み換えで、発酵法による原料を使用。このほか美肌成分としてヒアルロン酸、コラーゲンを、さらにCoQ10、ビオチン、ナイアシン、ビタミンEなども配合している。また、日本EGF協会の協会認定商品としても登録済み。来月には手軽なアルミ分包(1包9粒入り・420円)も発売する。

「今回はOEM業務も進める。すでに数社のOEMが決定、初年度売り上げ個数は10万個を見込んでいる。OEM会社には商標であるEGFも貸与する考え」だという。

